



キュッ

お
織莉子っ！



今日はありがとう
キリカ

また明日
出掛けましょう



きよ
今日は親が留守

で...



あら

私もちょうど
一人なの



ちゃんと言わないと
分からないわよ?

織莉子お♡

っ♡

ふるん♡

あっ

らめっ♡

ねえキリカ

どうかしら?
くちゅ♡
くちゅ♡



駄目?

それは
本当かしら?

あ♡

ちがっ

だめじゃっ
ないッ...♡

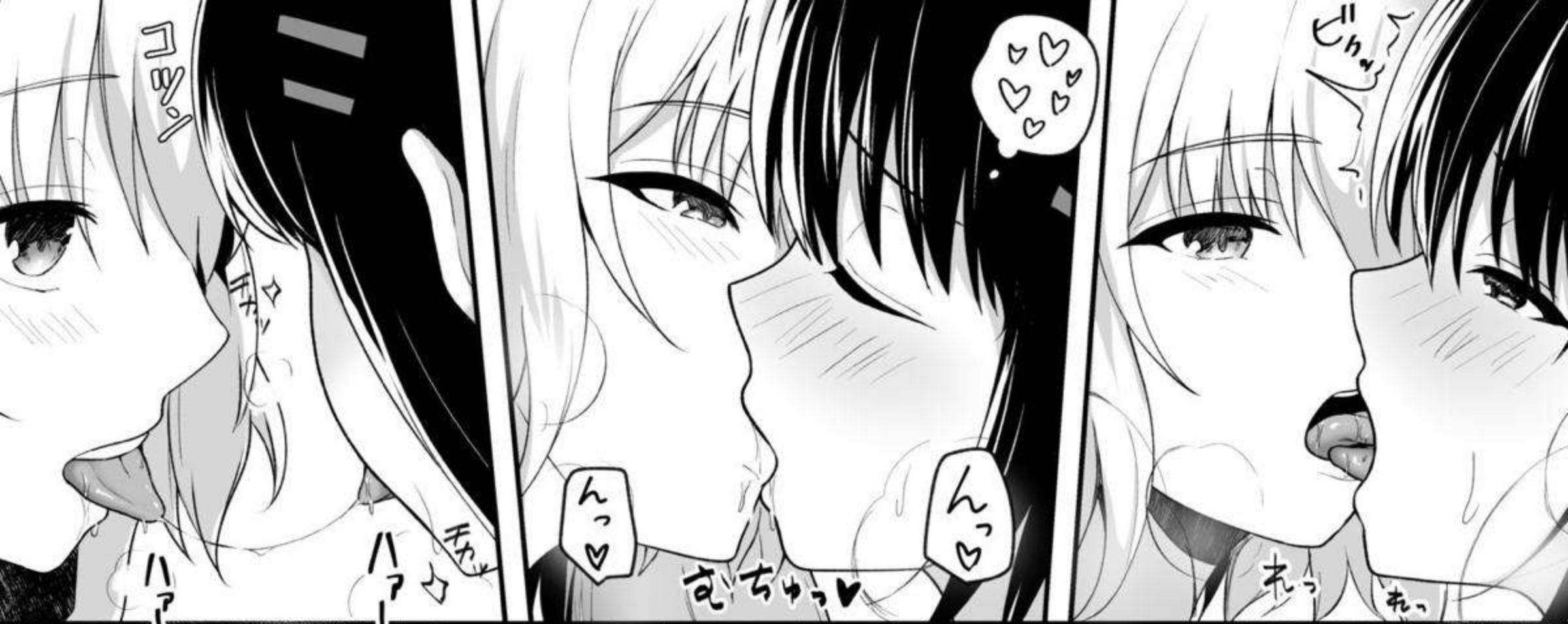


私のこと
愛しているものね

ふふっ

たっ♡

ズッ



「アッ」

「アッ」

「アッ」

「アッ」

んっ♡

んっ♡

んっ♡

♡♡♡♡♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

私の指が
キリカのお汁で
コーティングされている
みたいだわ

キスですぐにお股
ぐちよぐちよにして…



やっ♡
ナデナデ

あっ♡

んっ♡

ちゅぽっ

ズッ

ちゅぽっ

ちゅぽっ

ビクッ

ビクッ



だめなのになっ

本当は君と
こんなことっ

お織莉子ッ
私ッ

タッ
イッ

織莉子と
一緒にいるだけでっ

どドキドキして

だから…

…っ

ゆるゆるして

ほし…っ

私たちは
「とても」「大切」
同士でしょう？

なぜ私の許しが
必要なのかしら？

許さないわ

×11 ヌッ♡



キリカ
私も

—愛しているわ

あー

ゴッ

きゃー

あー
きゃー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

この後はどう
愛してあげよう
かしら

あー